



学校だより



NO.13
東京女学館小学校
令和7年3月11日

作品から見える子どもの姿

校長 盛永 裕一

二月十五日、十六日、展覧会が開催されました。体育館では子どもたちの力作が並び、講堂ではクラブや鼓笛の舞台発表がありました。多くの保護者やご来賓の方々においでいただいたこと、感謝申し上げます。子どもたちにとって、大きな励みになったと思います。

教師になりたての頃、児童文学作家の野村昇司先生に国語の指導法について教えていただいたことがあります。「羽田の水船」、「なきなきたまねぎ」などの児童向けの絵本を執筆されるとともに、小学校校長としても活躍されていた方です。野村先生はいつも私たちにこうつぶやかれていました。

「文学作品は、世に出た瞬間に様々な顔をもつようになる。作品の主題は、作者の意図にかかわらず、読み手によって変わるものだ。」

作品の主題は、書き手の手元から離れた瞬間に、読み手に委ねられる。また、時代によっても変わるものだ。自由に発想していただくのが楽しいのだよ。今になって、このような意味であったと推測します。

展覧会に並べられた子どもたちの作品は、作者である子どもたちの手を離れ、見ている私たちにその価値や評価が委ねられているのです。静かに並べられたそれぞれの作品からは、作者の描きたかったこと、その時の想い、作品づくりをがんばる姿などを想像することができます。

一年生の作品には、川で自分が泳が姿が描かれ、川岸に置かれた石にはペイントが施されていました。昨年九月の校外学習で拾ってきた石を使い、それをスイカや動物に見立て、ペイントしているのです。校外学習での石拾いの体験が、展覧会の作品づくりに生かされている。子どもたちの学びが、一年を通してつながっているのです。

六年生は、修学旅行で訪れた美濃市での紙漉き体験を生かした作品を仕上げました。自分で漉いた和紙を使って、「私の大切な言葉」をしたためたのです。

「誠実」「飛躍」「結実」「想像」「初心」「元」。言葉の選択も妙ですが、表現されている字が素晴らしい。心を込めて作品にしたことがわかるのです。書いた子に直接話を聞いてみたくなります。美濃市から本校体育館へ。ここにも学びの連続性がありました。

作品をじっくりと見ていると、そこから作品づくりに励む子どもたちの姿が思い浮かんでいきます。何を考えながら作っているのか、何を訴えたいのか。どんな工夫をしたのか。これは、児童文学作品と同じで、見ている人に委ねられた特権なのかもしれません。がんばった子どもたちに拍手を送りたいと思います。



展覧会 (2月15日・16日)

展示作品や発表から、子どもたちの日頃の成果を感じ取ることができる学校行事「展覧会」が2月15日・16日に開催されました。ご来場いただいた皆様には、図工の作品だけでなく、学年ごとにテーマを決めた学年制作や新紙幣の発行を記念した作品などから、歩くたびに雰囲気が変わる空間をお楽しみいただけたことと思います。また、当日は受付や入場案内など、校内の色々な場所で6年生の係児童が活躍する姿が見られました。令和2年度と4年度はコロナ禍の対策を取りながらの実施でしたので、6年ぶりに当日の舞台発表や係児童が復活し、盛大な展覧会ができたことを嬉しく思います。

隔年で行われる展覧会は、毎回その時の状況や実態に合わせて工夫されており、その時にしかできない宝物になると感じます。今回も展示作品はもちろん、友人と協力して作り上げた時の達成感や、おうちの方に見ていただいた時の喜びが子どもたちの中でキラキラと輝く宝物になることでしょう。

当日は天候にも恵まれ、両日で1,900名近くの方にご来場いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

担当教諭



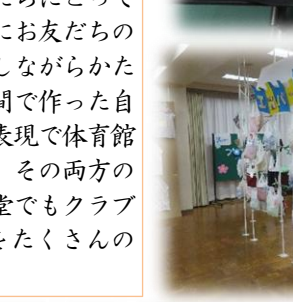
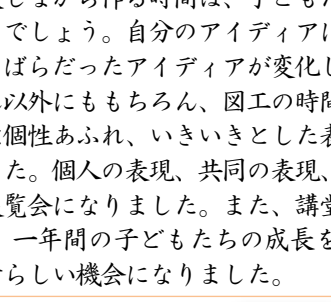
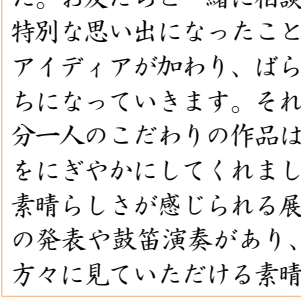
図工担当

二年ぶりの展覧会。コロナ禍によって、共同制作ができない期間がやっと終わり、今年度は待ちに待った学年制作を行うことができました。お友だちと一緒に相談しながら作る時間は、子どもたちにとって特別な思い出になったことでしょう。自分のアイデアにお友だちのアイデアが加わり、ばらばらだったアイデアが変化しながらかたちになっていきます。それ以外にももちろん、図工の時間で作った自分一人のこだわりの作品は個性あふれ、いきいきとした表現で体育館をにぎやかにしてくれました。個人の表現、共同の表現、その両方の素晴らしさを感じられる展覧会になりました。また、講堂でもクラブの発表や鼓笛演奏があり、一年間の子どもたちの成長をたくさんの方々に見ていただける素晴らしい機会になりました。

家庭科担当

5年生のエコバッグはその名の通り、エコを目指すものです。手ぬぐい1本を余すところなく使ってバッグの土台を縫い、おうちにあった布をポケット部分に使うことや、たとえ寸法や作り方を間違えてしまっても、工夫して作ることを学びました。

6年生のエプロンは、自分の考えを盛り込んだ型紙を作ることから始めました。将来もずっと大事に使いたいという場合は大きめサイズにし、ポケットにいろいろな物を入れたい場合は整理しやすいよう、ポケットを二つに分けました。5年生の時より、ミシン縫いが上手になったと実感する児童も多く見られました。



展覧会 クラブ発表

展覧会委員会

レクリエーションクラブ・お箏クラブ・バトンクラブ・音楽クラブが講堂で舞台発表を行いました。《レクリエーションクラブ》はじめの挨拶や、幕間のパフォーマンスで進行役を務めました。Tシャツのリズムゲームやネズミと猫が出てくるマジックを披露し、全員が楽しめるようによく工夫してパフォーマンスをしていました。

《お箏クラブ》「OKOTO」という曲に挑戦しました。曲名通り、お箏の音色や響きが美しく、息のあった演奏はつい聞き入ってしまうような、華やかな演奏でした。

《バトンクラブ》「Magnetic」「Living In Color」「Let's go いいことあるさ」というテンポの良い曲に合わせて、明るくはつらつとした演技を披露しました。フープバトンで隠れミッキーを作ったり、舞台下の観客席で踊ったりと、観客が驚くような演技でした。

《音楽クラブ》リコーダーと打楽器の音が鳴り響く「さあおどろう」と、平安時代の子どもたちと遊んでいるような、神秘的な世界を表現した「こどものせかい」、最後の曲は合唱で「すてきな友だち」を手話と一緒に歌いました。練習する中で子どもたちのアイデアがたくさん生まれ、本番では心をこめて演奏することができました。

最後には、5、6年生が鼓笛演奏を行いました。「ソラシドマーチ」「ドラムマーチ」「となりのトトロ」「小さな世界」の4曲を立派に演奏しました。

皆、緊張しながらも積み重ねてきた練習の成果を発表し、会場では、感動すれば大きな拍手が、リズムに乗れば手拍子が、面白ければ笑い声が自然に起こり、温かく和やかな一体感に包まれました。



6年 社会科学 国会議事堂・科学技術館 1月29日(水) 社会担当

衆議院選挙をはじめ、政治的な話題の多かった今年度。その都度学習してきた内容の締めくくりとして、参議院特別体験プログラムで法案がどのように話し合われるかを体験し、衆議院本会議場を見学しました。科学技術館では、1人ひとりが自分なりの関心があるテーマを見つけることができました。

実際に国会議事堂を見て緊張感が高まりました。びっくりしたのは、テレビで見るより実際の方が大きく迫力があつたことです。さらに、総理大臣の席より衆議院議長の席の方が高いところにあり、総理大臣はとても偉いイメージがあつたので、余計に驚きました。

(6A 児童)

参議院特別体験プログラムで、本会議の議長役をやりました。一番高い席だったのでびっくりしました。話し合いのはじめに木槌を叩いて、法案を審議した結果について労働委員長の報告を受けました。本会議では、法案に賛成か反対かは各議員がボタンで投票します。議長席では投票結果を先に見ることができ、感動しました。なかなかできない体験だったので、楽しかったです。

(6B 児童)



1/31 (金) 漢字検定

恋愛園への寄贈品搬出

4年 校外学習 伝統工芸館・カナダ大使館 1月30日(木)

4年担任

カナダ大使館前で貸し切り都バスを降り、伝統工芸青山スクエアの会議室に赤いカバンを置かせていただきました。A組は伝統工芸青山スクエアへ、B組はカナダ大使館へ向かいました。

この日の特別展は加茂桐箏箏展、江戸木目込み人形のお雛様が展示されていました。有松人形工場の職人さんは、金箔を人形に貼り付ける細かな工程の実演を見せてくださいました。また、加茂箏箏の職人さんは、開けた引き出しを押し込むと、片方の引き出しが自然に飛び出す現象を見せてくださいました。密閉性が高くスムーズに開け閉めができる、職人技の成せる業でした。本物を見ることで、児童の学びがより一層深まりました。



令和6年度リボンの会ご挨拶 リボンの会 会長

先日の恋愛園寄贈品受付に際しましては、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。一つひとつの品に込められた皆様の温かいお気持ちに感謝しながら、クラス代表一同で梱包させていただきました。2月27日には高学年児童を中心に搬出のお手伝いをしていただき、無事、恋愛園の皆様のもとに寄贈品をお届け出来ました事をこの場をお借りしてご報告させていただきます。

私どもの活動も間もなく終了いたします。至らぬ点も多々あったかとは存じますが、会の活動にご理解をいただきました全保護者の皆様、笑顔で活動を共にしてくださいましたクラス代表の皆様、そして児童のために最善を尽くし、いつも温かくご指導いただきました先生方に、心から感謝を申し上げます。また今年度は記念品として「オリジナル消しゴム」をお贈り致します。新学期の学校生活でご使用いただけましたら幸いです。

一年間、本当にありがとうございました。



3月の生活目標 「1年間の反省をする」

1年間のまとめの時期です。学校や学級の目標・一人ひとりの目標に対して、どのように自分が取り組んできてどこまで達成することが出来たか、自身をふりかえる大切な時期です。子どもたち自身が成長を感じ、次の目標を設定することができるよう励ましていきます。友だちと協力してたくさんのことを経験し、多くを学び大きく成長したこの一年でした。ご家庭でもこの一年間の成長を話題にして認め褒めていただけると、次年度への励みになりますのでよろしくお願いいたします。

☆定期券の期限切れにお気を付けください。また新年度まで定期券を購入されない場合、学バスのスムーズな乗車のために、できるだけICカードをご利用ください。



1日 (土)	3校対抗親善試合(東洋英和女学院)	14日 (金)	保護者会(1~5年生 9時30分~11時30分)・家庭学習日
3日 (月)	桃の節句・音楽朝会・1,2年生ひなまつり会	17日 (月)	家庭学習日・6年生卒業式練習(関係者参加)
4日 (火)	1年生こどもの国		中学生のお話(8時30分~)・卒業式準備
5日 (水)	卒業式予行(全校講堂)	18日 (火)	卒業式(第91回)・謝恩会
	面談週間(4時間授業・5,6年平常授業) [3月13日(木)まで]	19日 (水)	音楽朝会(入学式の歌)・2時間授業・3校時大掃除・軽食
6日 (木)	送別ドッジボール大会(40分授業)	20日 (木)	春分の日
7日 (金)	体操朝会・2年生こどもの国・6年生卒業式練習(講堂)	21日 (金)	修了式・離任式(8時20分~9時20分)
	6年生 植樹式(6校時)		2校時学級指導
10日 (月)	鼓笛隊の引き継ぎ式		
11日 (火)	TV朝会・3年生昔の道具体験(七輪)		
13日 (木)	給食終了・6年生中学算数授業③		

令和7年度 新学期始業式は
4月7日(月)です。

